

# ステイホーム with コロナ

コロナウィルスにより、学校が休校となり、予期せぬ長い休み。学校の終わり方や始まり方がいつもと違った雰囲気の中、晴香園での生活も自粛し、お家で過ごすことになりました。晴香園では、子どもたちにも協力してもらい、他ホーム同士の交流を自粛し、園内での遊び場所も順番に遊べるようにしました。晴香園職員たちもコロナ体制の中全力で取り組み、複数のチームに別れ、専門職もホーム対応に入り、運営していました。今後もコロナと共に新しい生活様式での生活となります。みんなで乗り越えていきたいです。



## 子どもたちの暮らしの工夫アンケート

- 4、5月中のまだ少し肌寒い中での換気が大変だった。公園や近場での外出でもマスクが必要で、今まで毎日マスクをする習慣がなかった大人も子どもも、マスクに慣れるまで大変だった。特に子どもたちはいろいろなことを制限されて、自由が効かない中で、マスクや感染予防を理解してくれて頑張ったと思う。
- コロナのせいで、学校に行きたくても行けない、外で遊びたい、買い物に行きたい等の気持ちがあっても、制限されてしまうストレスを感じながらも、大きな問題がなく、ここまでこれたのは子どもたち一人ひとりの頑張りのおかげだと思う。
- スーパーに行ったらアルコールスプレーを行きと帰りに行う。手洗い、うがいの徹底。
- 暑くなったり、引っ越し等の力仕事の際にマスクを着用することは大変だった。なので、冷感マスクを購入した。子どもへの自粛への理解を求めるための話し合いも苦労した。
- ボードゲームを買った。暇な時間を潰すのが大変な子どもがたくさんいた。
- 小さい子の検温は定着したが、大きい子に関しては学校でのチェックシートもあり、ダブルでの記入については今でも課題。手洗い、うがい、マスクについては全員が意識できていると思う。トイレットペーパー、ティッシュ、マスクが売り切れの時は抗議する子もいて大変だった。
- マスク着用の意識を高めることができ一番の苦労だった。自ら着用することは当然のことだが、ふだん着用することに意識が薄い低学年の子たちに声掛けを気をつけていた。感染リスクを考えたり子どもの安全・安心を意識することで定着率をあげることができたと思う。
- 毎日熱を測ること。本当に大変だったけど、毎日頑張った!大事なことだから仕方ないと思って…本当に嫌な世の中になってしまったと思う。



まねしてね! 先生ごっこ?笑



鼻歌を歌いながら♪♪



作りたい…むずかしい…



## 第40号

——発行——

児童養護施設 晴香園  
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
電話 047(345)2722  
FAX 047(309)8807  
E-mail:info@s-haruka.org



あやとりできるよ~



おさかなつれるよ~

このコロナ禍の中で、子どもたちは学校へも行けず、かといって友達と遊びに行つたりもできずと、感染拡大防止のため我慢の日々が続きました。こんな大変な時だからこそ、お家の中で過ごす時間を楽しめるようにと寄付をいただき、みんなが楽しめるようなボードゲームを多数購入させていただきました。今回はその一部を紹介したいと思います。



「ねことネズミの大レース」、さいころを振つてネズミを動かし、後ろから追いかけてくる猫につかまらないようにチーズを集めていくゲームです。何度も大人は大量得めるのに対し、大人は大量得点を目指しギャンブルのような動きをし、結局お互いの点数はトントンに…笑。スリルのあるゲームで、その子の性格がよく表れて、とても面白いゲームです。他にもさまざま

まな種類のゲームがあり、子どもたちとコミュニケーションをとるのにとても重宝しています。今後とも大事に遊ばせていただきます！

## ボードゲーム



チーズをたくさん集めるぞ!!

### コロナ福利厚生

今回、職員のコロナ感染予

防対策の一つとして、電車通勤している職員の住宅を確保し、職員の子どもの保育園の自肃により、在宅ワークと子連れ出勤ができるようになります。

した。

## はじめての一人暮らし

私が一人暮らしをしてみて思ったことは、まずは実家はとても素晴らしい所だなと感じました。次に余裕が出て来てから思ったことは施設にいる子たちの事でした。私は21歳で渋々初めての一人暮らしを始めましたが、施設の子たちは、だいたいが高校を卒業して18歳にはでなくてはいけないのかと思うと厳しいな、と感じました。だからと言ってみんなが晴香園を巣立たないことはないので、2か月間一人暮らしをしてみて、どんなことが困ったのか、逆にどんなことが楽しかったか、日々の暮らしの中から子どもたちに伝えていけたらなと思います。

そしてこのような大変な状況の中で電車通勤をしていた私の健康を心配してください、住居を決めてくれた方々にはこの場を借りて感謝の気持ちを伝えさせていただきます。本当にありがとうございました。

ホーム職員 T職員

## 私の在宅ワーク

園の多大な配慮により実現して頂いた、私の在宅ワークは4月の末から始まりました。主な仕事内容は、用意して頂いた電話を使って、在園児の家族・卒園児・児童相談所とのやりとりでした。このコロナ禍、子ども達と離れ生活する家族にとって子ども達の今についての心配や、家族自身の不安。また卒園していく児童の生活・学業に対する心配事は想像以上のもので、日々電話やメールを利用して多くのやりとりをすることとなりました。この機会をもって、多くのやりとりが行えたことは、不謹慎ではありますが有難いことだったと思っています。ここから得られた関わりを大切に今後の業務に生かしていきたいと思っています。

私事ですが、育休明けから毎日当たり前のように保育園にお世話になりっぱなしだった娘の日々の時間。晴香園のお仕事をさせてもらいながらではあります、多くの時間を共にさせてもらいました。園の電話がなると「ほら！電話！早く出ないと！」と。電話中は傍らで静かに待っていてくれ、電話業務に協力的でいてくれた娘には多くの成長を感じさせられました。良くないと分かりながらも現実は「早くして」と娘を急かし、こちらの都合で待たせることも多かった今まででしたが、私自身少し改心できたのではと振り返っています。それも、このような形で業務へのあたり方を検討・実現して頂いた管理職の方々、また理解・協力をして頂いた職員皆様のお陰だと思います。本当にありがとうございました。

家庭支援専門相談員 O職員

## 新任職員奮闘記



★緊急事態宣言が発令される少し前の4月1日、晴香園に採用となりました。新採オリエンテーションを受けるのと同時並行で、新型コロナウイルス感染防止対策等にとりかかり、この3か月は右往左往しながらあつという間に過ぎていきました。これまでの間、幸い晴香園には新型コロナウイルスの発生はなく、感染予防行動を守っている子どもたち、職員の皆さんには感謝と敬服する思いでいっぱいです。コロナ対策による休校措置で子どもたちがずっとホームにいてくれたため、入職直後から子どもたちと接する貴重な時間を持つことができ、自分の存在を知ってもらうことができたとも感じています。これからも、晴香園で感染者が発生しないことが私の大きな目標です。

期待されている役割を十分に果たせているかと、まだまだ正直不安もいっぱい抱えていますが、自分にできることから一つずつ取り組んでいきたいと思います。もちろん、コロナ対策だけでなく、子どもたち、そして職員の皆さん的心身の健康を守る役目を担っていけるようがんばりたいと思います。

保健師 T職員

★約3か月勤務して、大変だなと思ったのは子どもへの関わりや適切な支援です。さっきまで元気に遊んでいた子が急に泣き出したり、機嫌が悪くなったり、そんな場面をたくさん見てきました。話しを聞こうとしても上手く言葉で伝えられない子や、言葉に出来ない事を物や人に当たってしまう子等、いろいろな子がいます。どんな子どもでも観察や、職員との関わりからその子どもを理解する事が、子どもと良い関係を築けたり、適切な支援に繋がるのだと日々感じています。最近嬉しかったことは、いつも部屋にこもりがちなR君が、学校の話しやたわいもない話をしてくれたことです。こんなに話すんだ、とびっくりするくらい長々と話し込んでいました。R君が完全に心を開いたとまではいかないけれど、この人には話しても大丈夫、と少しでも思ってくれたかなと思うと、とても嬉しいです。

晴香園が子ども達にとって安心でき、心からくつろげる生活環境が作れるように、職員として日々成長していきたいです。

ホーム職員 S職員

★晴香園で働いて3か月、6月から実際にホームに入りホーム職員として1か月が経ちました。4月から働かせて頂いて1番大変だと感じたのは、子ども達に対する声掛けの選択です。自分の声掛けによってその後の子どもの表情、言動、そして次の行動が変わって来る為どんな事でもその子どもにあった声掛けが求められていると思います。このたった3か月の中でもあの時の声掛けは適していなかった、と後々感じる事が多くありました。

そう感じていた中で4月には自分の話に耳を傾ける事がなく、どう伝えたら、どう接したらいいのかも分からずに悩んでいたRさんが同じホームになってから少しづつ自分が伝えた話に対しての反応が多くなったり、自分に少しづつ安心感を抱いてくれた事が分かった時はとても嬉しく感じました。子ども達にとって晴香園や職員が少しでも安心出来たり、居心地が良い場所になるよう努めたいと思います。

ホーム職員 S職員

★晴香園で働かせていただいてから約3か月が経ちましたが、本当に色々なことがありあつという間だったなという印象です。特に今年度はコロナの影響で大人にとっても子どもにとってもすごく負担のかかる生活が続いており、たった3か月ですがそれを日々痛感しています。また、6月から新ホームでの生活も始まり、一から自分たちで作り上げていかなければならぬという大変さを毎日感じています。ホーム内の決まりや生活の流れ・雰囲気などもそうですが、特に難しさを感じているのが子どもたちとの関係作りです。まだ自分なりのスタイルや関わり方を日々子どもたちと接している中で模索している状態で、「あの時もう少しこうできたのでは」と上手くいかないことばかりです。子どもたちのぶつけてくる感情をきちんと受け止められるように自分自身がもっと成長しなければと思います。ホーム職員として働き始めてから約1か月ですが、振り返ると本当に多くの方に支えて頂きました。感謝を忘れず、これからも自分のペースで頑張っていこうと思います。

ホーム職員 S職員

その中でも最近一番頑張っているものは料理です。料理は夕方に大学の授業がない日

る日の昼食にしています。夕方には、週に5回くらいの頻度で厨房職員が夕食の手伝いをしに来てくださるので料理に関してもいい情報がらえています。例えば、各料理に適している野菜の切り方や炒める順番、よりおいしく作るための隠し味等です。このように厨房職員が私にアドバイスをしてくださり少しずつ料理の腕が上がっています。末等のみんなの学校がない日は夕食の時に学んだことを活かしてホーム全員分の料理を作っています。実際、私が作ったものを食べてみるとたまに味が薄く感じることがあります。ですが皆がおいしそうに食べててくれるので私が感じる味の濃さを再確認できることもあります。最近では料理をすることが好きになり、平日の誰もいない時でも自分用のお昼ご飯を作ったりもしています。

いる共にスベースは一人暮らしをしたら自分で作らなければいけない環境だと思い、食器洗い、トイレ掃除、私自身に余裕があるときは幼稚園児年少の男の子の面倒を見るなどの行動を始めました。その中でも最近一番頑張っているものは料理です。料理

私は、昨年度の3月30日をもって晴香園を退所し大学の寮に入る予定でした。しかし、コロナウイルスの影響で入寮の時期が最終的には9月にまで伸びてしまい自然に措置延長という形になってしまいました。そのことがあり、ただ出される食事やきれいにされている共にスベースは一人暮らしをしたら自分で作らなければいけない

で、厨房職員が夕食の手伝いをしに来てくださるので料理に関してもいい情報がらえています。例えば、各料理に適している野菜の切り方や炒める順番、よりおいしく作るための隠し味等です。このように厨房職員が私にアドバイスをしてくださり少しずつ料理の腕が上がっています。末等のみんなの学校がない日は夕食の時に学んだことを活かしてホーム全員分の料理を作っています。実際、私が作ったものを食べてみるとたまに味が薄く感じることがあります。ですが皆がおいしそうに食べててくれるので私が感じる味の濃さを再確認できることもあります。最近では料理をすることが好きになり、平日の誰もいない時でも自分用のお昼ご飯を作ったりもしています。

いる共にスベースは一人暮らしをしたら自分で作らなければいけない環境だと思い、食器洗い、トイレ掃除、私自身に余裕があるときは幼稚園児年少の男の子の面倒を見るなどの行動を始めました。その中でも最近一番頑張っているものは料理です。料理は夕方

る日の昼食にしています。夕方には、週に5回くらいの頻度で厨房職員が夕食の手伝いをしに来てくださるので料理に関してもいい情報がらえています。例えば、各料理に適している野菜の切り方や炒める順番、よりおいしく作るための隠し味等です。このように厨房職員が私にアドバイスをしてくださり少しずつ料理の腕が上がっています。末等のみんなの学校がない日は夕食の時に学んだことを活かしてホーム全員分の料理を作っています。実際、私が作ったものを食べてみるとたまに味が薄く感じることがあります。ですが皆がおいしそうに食べててくれるので私が感じる味の濃さを再確認できることもあります。最近では料理をすることが好きになり、平日の誰もいない時でも自分用のお昼ご飯を作ったりもしています。



カレーうどん、職員にごちそうするよ!

## 予想外の措置延長

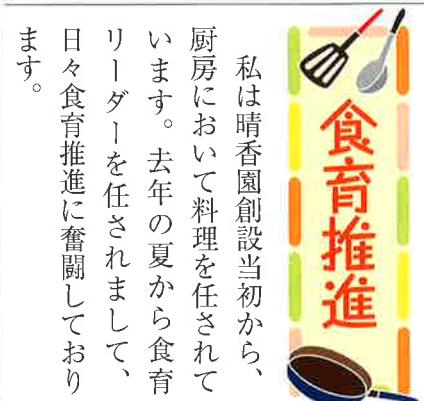


今年度もドリームチャレンジ、通称ドリチャレを実施しています。子どもたちのチャレンジしたい社会体験を募集する晴香園のイベントです。



もしもし? 電話の練習中

期間も食事を作ることはもちろん大学の授業等に余裕ができたときなどは積極的にいろいろな手伝いをし、自分自身を成長させていきたいです。  
(S君は晴香園名簿の職員の欄にカッコ付けで入りました。)



私は晴香園創設当初から、厨房において料理を任されていました。去年の夏から食育リーダーを任せられまして、日々教育推進に奮闘しております。



食育リーダー! 日々精進!

事前準備は大人と話し合いをしながら、応募書類を提出することから始まります。子どもたちのチャレンジは、内容も質もどんどん進化してきています。どういうことにチャレンジしたいのか、目的は何か、どういう計画なのか等考え方で計画し実行します。今後は、合格者は実際に社会体験することができます。今回の応募者は、今のところ6人です。常連の子から、初めて応募する子もいます。今回夢をつかむチャンレジヤーは誰になりますのでしょうか?!楽しみですね。

いや、改善策を聞き取りしたり、また新職員の調理育成(調理をする上でのアドバイス、時短調理、効率の良い洗い物のやり方)等を教えたりしています。あとは、卒園していく児童に最低限の料理スキル、園を卒園したら、コンビニ弁当だと栄養が偏る、すべて自分でやらないといけない、自覚等を教えたりしています。そして卒園しても食事等に困らない生活を送ってほしいと思います。在園児には作った食事をみんなで集まって笑顔で食べて楽しい団欒の場を作ることを心がけています。これからも晴香園の食育リーダーとして頑張っていきたいと思います。

## 令和2年度 事業計画の骨子

今年度も目的達成を目指し邁進します。



### 晴香園の令和元年度決算と令和2年度予算をお知らせします。

| 晴香園 令和元年度決算       |         |                   |         | 晴香園 令和2年度予算        |         |             |         |
|-------------------|---------|-------------------|---------|--------------------|---------|-------------|---------|
| 収入(千円)            |         | 支出(千円)            |         | 収入(千円)             |         | 支出(千円)      |         |
| (1)事業活動収入         | 384,504 | (1)事業活動支出         | 251,405 | (1)事業活動収入          | 268,618 | (1)事業活動支出   | 247,024 |
| ①措置費収入            | 251,272 | ①人件費支出            | 172,722 | ①措置費収入             | 244,920 | ①人件費        | 174,241 |
| ②補助金収入            | 10,861  | ②事業費支出            | 55,662  | ②補助金収入             | 11,383  | ②事業費        | 52,249  |
| ③借入金利息<br>補助金収入   | 148     | ③事務費支出            | 19,244  | ③借入金利息<br>補助金収入    | 105     | ③事務費        | 17,321  |
| ④寄付金収入            | 118,372 | ④支払利息支出           | 376     | ④寄付金収入             | 9,000   | ④支払利息支出     | 244     |
| ⑤受取利息<br>配当金収入    | 19      | ⑤その他の支出           | 3,401   | ⑤受取利息              | 10      | ⑤その他        | 2,969   |
| ⑥その他の収入           | 3,832   | (2)施設整備等支出        | 21,181  | ⑥その他収入             | 3,200   | (2)施設整備等支出  | 19,928  |
| (2)施設整備等<br>補助金収入 | 3,357   | (3)その他の活動支出       | 114,170 | (2)施設整備等<br>補助金収入  | 3,357   | (3)その他の活動支出 | 12,023  |
|                   |         | ①積立資産支出           | 109,002 | (3)その他の活動<br>による収入 | 7,000   |             |         |
|                   |         | ②サービス区分間<br>繰入金支出 | 5,168   |                    |         | 計           | 278,975 |
| 計                 | 387,861 | 計                 | 386,756 | 計                  | 278,975 | 計           | 278,975 |

\* 事業活動支出の事業費の主な内訳は、給食費12,168,000円、学校・学習塾等10,964,000円、習い事・体験活動等5,205,000円、就職・進学支度費2,031,000円です。

\* 事業活動支出の事業費の主な内訳は、給食費12,222,000円、学校・学習塾等10,296,000円、習い事・体験活動等4,739,000円、就職支度費・進学費用600,000円です。





## お知らせ

# 晴香園フェスタ 開催中止

皆様、毎年楽しみにしている晴香園フェスタですが、  
今年はコロナ感染拡大防止のため開催中止となります。ご理解賜りますようお願いいたします。



黙々と…熱中



走らせよう!途中、線路切れてる?

|                 |        |        |
|-----------------|--------|--------|
| ○学習ボランティア       | 柴田 和子  | 田中 里奈  |
| ○遊びボランティア       | 小林 由美子 | 遠藤 理趣  |
| ○読み聞かせボランティア    | 猿渡 英明  | 相澤 礼美  |
| ○ピアノボランティア      | 深山 喜予  | 高橋 千尋  |
| ○花ボランティア        | 湯本 佳子  | 松田 瑞樹  |
| ○NPO法人 Imagine  | 石井 美和  |        |
| ○副理事長           | 黒田 静江  | 山下 緋沙子 |
| ○松戸更生保護女性会      |        |        |
| ○幼稚園リトミックボランティア |        |        |
| ○誕生日ケーキプレゼント    |        |        |

ボランティアのご協力  
ありがとうございました

Kちゃん「蚊さん、まだお腹すいてるみたい。まだKのところにとまつてくるよ。」  
副施設長「(♡ほっこり♡)」  
Kちゃんは、蚊がお腹いっぱいになつたら自分のところに蚊がこなくなると思っているようです。

晴香園の庭でキャンプ体験をして、たくさん蚊にさされてはれあがつてしまつた小3女の子がつぶやいたお話し。

副施設長「Kちゃん、大変だったね！」

Kちゃん「蚊さん、まだお腹すいてるみたい。まだKのところにとまつてくるよ。」

副施設長「(♡ほっこり♡)」

Kちゃんは、蚊がお腹いっぱいになつたら自分のところに蚊がこなくなると思っているようです。

ほっこりさん

## お振込先口座が変更になりました。

### 後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上  
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 北小金支店  
口座番号 普通 3003235  
口座名 社会福祉法人晴香（後援会口）

※寄付金に関する詳細は、  
下記にお問い合わせください。

〒270-0011  
千葉県松戸市根木内145  
社会福祉法人 晴香

### まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店  
口座番号 普通 3003243  
口座名 社会福祉法人晴香（まなび基金口）

TEL.047-345-2722  
FAX.047-309-8807  
E-Mail:info@s-haruka.org

今日は、コロナ記事の特大号となりました。3月から5月にかけてコロナと同時に以前より計画していた晴香園居住棟内装工事が行われました。工事予定の5ホームを1ホームずつ実施し、その間は職員も子どもたち他のホームで仮暮らしをしていました。そのような中、コロナ自粛が始まり、子どもたちも戸惑いが多かったと思います。それでも元気に過ごす子どもたちにたくさんエネルギーをもらっていました。毎年恒例の晴香園と後援会の春の交流会、晴香園フェスタも中止となりました。皆様とお会いできず残念です。今年はイベントの開催が危ぶまれる1年かと思ひますが、子どもたちと日常をどう豊かにしていくのか考えていきたいと思いま

す。 今日は、コロナ記事の特大号となりました。3月から5月にかけてコロナと同時に以前より計画していた晴香園居住棟内装工事が行われました。工事予定の5ホームを1ホームずつ実施し、その間は職員も子どもたち他のホームで仮暮らしをしていました。そのような中、コロナ自粛が始まり、子どもたちも戸惑いが多かったと思います。それでも元気に過ごす子どもたちにたくさんエネルギーをもらっていました。毎年恒例の晴香園と後援会の春の交流会、晴香園フェスタも中止となりました。皆様とお会いできず残念です。今年はイベントの開催が危ぶまれる1年かと思ひますが、子どもたちと日常をどう豊かにしていくのか考えていきたいと思いま